

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハチマルニイマル  
8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

# 廣齒連盟ニュース

## HIROSHIRENMEI NEWS

平成22年 4月28日

### 第143号

発行所 広島県歯科医師連盟  
広島市中区富士見町11-6  
エソール広島820 TEL(082)241-8020  
ホームページ http://hpdpf.jp  
編集兼発行人 相田博昭



挨拶する山科透県歯連盟会長

師会、日本歯科医師連盟も精力的に働きかけ、32年ぶりに医科以上の点数に改定され、加えてマイナス改定であったものが十数年ぶりにプラス改定になったという経緯がある。しかし更なる増点につながるかは予断を許さない。明日、広島と福山で改定説明会が開催されるが、2・09%以上の効果があればと思っているので、しっかり取り組んでいきたいと思う。本日は22年度の事業計画案・収支予算案を承認していただくこと、次期参議院選挙推薦候補者の対応についても審議していただきたい。また、本日は日本歯科医師連盟会長の堤直文会長もご出席

3月27日(土)午後5時30分より広島県歯科医師会館6階「ハーモニーホール」に於いて第54回広島県歯科医師連盟評議員会を開催し、第22回参議院議員通常選挙候補者について審議、比例代表に西村まさみ氏を支援候補者、広島選挙区では宮澤洋一氏を推薦候補者とすることを可決承認した。

3月27日(土)午後5時30分より広島県歯科医師会館6階「ハーモニーホール」に於いて標記の会が開催された。氏名点呼の後、徳久行夫副会長の開会の辞で始まり、議長の進行のもと、議事録署名者に中原裕穂(呉)、酒井清文(因島)の両評議員が指名された。次に山科透会長より「この4月の診療報酬改定の於いて、日本歯科医師連盟、日本歯科医師連盟、も精力的に働きかけ、32年ぶりに医科以上の点数に改定され、加えてマイナス改定であったものが十数年ぶりにプラス改定になったという経緯がある。しかし更なる増点につながるかは予断を許さない。明日、広島と福山で改定説明会が開催されるが、2・09%以上の効果があればと思っているので、しっかり取り組んでいきたいと思う。本日は22年度の事業計画案・収支予算案を承認していただくこと、次期参議院選挙推薦候補者の対応についても審議していただきたい。また、本日は日本歯科医師連盟会長の堤直文会長もご出席

### 次期参院比例代表選

## 西村まさみ(民主党)連盟員を支援候補者に決定

#### 第54回県歯連盟評議員会



挨拶する堤直文日歯連盟会長

の先生方に個人的な繋がりで接していく中で話を通じるようになり、なんとか2・09%の改定率を出すことができたというわけである。その後、民主党では、次期参議院選挙について「比例区で出馬したい歯科の先生がいるが、一人に絞ったら応援してもらえないか」という話になった。我々が常に政治連盟として活動しているのは、我々の陳情を受けてもらえるためであり、我々の希望を具現化してくれる民主党を応援しないわけにはいかない。従って歯科医師の先生が立候補されるのを応援するのはやぶさかではないと度重なる会議の末、考えた次第であり、その結果選ばれたのが西村先生である。この場で西村先生のご挨拶をいただきたかったのだが、北海道に行っており私が代わりに許しを得て来ている次第である。西村先生は東京の中野で開業されて、働く母の立場から政治の場で働きたいと言われていた。先日、石井みどり先生と話した際には、「私は歯科医師党としてがんばる。与党、野党の区別はない」と話をしていた。私達は、石井みどり先生を抱えていることの責任と自覚があり、この中で、西村さんは石井みどり先生にご指導を仰ぎながら議員としての活動をしたいと述べられている。我々は前回22万8千票取った。そのことから、与党に対して、野党に対しても我々の団結力を認識してもらっている。しかし我々の生活は誰も守ってくれない。我々の生活は我々が守らねばならない。どうかご理解とご協力いただき、西村まさみ先生をよろしくお願したい」と挨拶があった。

続いて報告事項に入り、荒川信介理事長より

- 1 一般会務報告
- 2 会計現況報告
- 3 中央情勢報告
- 4 その他

次について報告があった。次に議事事項に入り

第1号議案 平成22年度

事業計画案の承認を求め件

第2号議案 平成22年度会費賦課額並びに徴収方法に関する件

第3号議案 平成22年度事業収支予算案の承認を求め件

第4号議案 広島県歯科医師連盟規約の一部改正について

第5号議案 第22回参議院議員通常選挙候補者の推薦及び対応について

第6号議案 その他の案件

について協議し、原案どおり可決承認された。最後に穴村伸一副会長より閉会の辞で終了した。

の先生方に個人的な繋がりで接していく中で話を通じるようになり、なんとか2・09%の改定率を出すことができたというわけである。その後、民主党では、次期参議院選挙について「比例区で出馬したい歯科の先生がいるが、一人に絞ったら応援してもらえないか」という話になった。我々が常に政治連盟として活動しているのは、我々の陳情を受けてもらえるためであり、我々の希望を具現化してくれる民主党を応援しないわけにはいかない。従って歯科医師の先生が立候補されるのを応援するのはやぶさかではないと度重なる会議の末、考えた次第であり、その結果選ばれたのが西村先生である。この場で西村先生のご挨拶をいただきたかったのだが、北海道に行っており私が代わりに許しを得て来ている次第である。西村先生は東京の中野で開業されて、働く母の立場から政治の場で働きたいと言われていた。先日、石井みどり先生と話した際には、「私は歯科医師党としてがんばる。与党、野党の区別はない」と話をしていた。私達は、石井みどり先生を抱えていることの責任と自覚があり、この中で、西村さんは石井みどり先生にご指導を仰ぎながら議員としての活動をしたいと述べられている。我々は前回22万8千票取った。そのことから、与党に対して、野党に対しても我々の団結力を認識してもらっている。しかし我々の生活は誰も守ってくれない。我々の生活は我々が守らねばならない。どうかご理解とご協力いただき、西村まさみ先生をよろしくお願したい」と挨拶があった。



第54回県歯連盟評議員会(3/27)

**第 5 号議案**

**第22回参議院議員通常選挙候補者の推薦及び対応について**

**全国比例区 候補者**

支援候補者氏名	所属	備考
西村 まさみ	民主党	

**広島選挙区 候補者**

推薦候補者氏名	所属	備考
宮澤 洋一	自由民主党	広島選挙区 定数 2名

**歯科医療に関する考え**

平成22年 3月25日  
宮澤 洋一

**1. 歯科診療報酬体系の抜本的見直し**

高齢化が最高点に達する時期を20～30年後に控え、健康寿命の延伸が最重要の政策であること、その中で歯科医療の重要性がますます増加していることを考えると、医科に比べ保険医療の範囲が限られている歯科の診療報酬体系を抜本的に見直す時期が来ていると考えています。

**2. 「口腔保健法」の制定**

口腔保健活動のありかたとその成果については、いまだに地域格差がみられます。国民の口腔保健向上のためにも、今検討されている「口腔保健法」を是非成立させなければならないと考えています。

特に、ライフサイクルに即した歯科健診制度を拡充し、8020社会の実現に向けた口腔保健活動の推進に力を注いでいきたいと考えています。

**3. 歯科医師の需給問題の改善と資質の向上**

フリーター並の収入しかない歯科医師が多数存在することは、まさに異常であり、優秀な人材の確保が困難になっています。

国民が世界最高レベルの歯科診療を安心して受けられるよう、10年後、20年後の我が国の歯科医療の青写真をしっかりと描き、歯科医師の資質の向上のための施策を実行するとともに、歯科医師数の適正化を実現し、加えて歯科医師の業務範囲の拡大に向けた取り組みを推進して行きたいと考えています。

**第 1 号議案**

**平成22年度 事業計画(案)**

**1. 基本方針**

昨年 8 月施行の衆議院総選挙において、民主党が300議席を超える議席を獲得し、半世紀以上に及んだ自民党政権から民主党政権へ政権交代となった。

この結果、診療報酬等国政レベルについては民主党、条例や補助金等県レベルの諸施策については自民党への要望と、非常に複雑な構図となり、対応も苦慮するところである。

加えて、特に今年は、参議院議員選挙が施行され、候補者擁立、選挙支援等難問山積の様相を呈している。

このような時にこそ、連盟員の安心・安全なる歯科産業の業権確保とその発展という連盟設立目的に沿って政治活動を行わなくてはならない。

ついては、性急な選択を回避し、世情を冷静に判断しつつ、連盟員の声を反映できるよう、歯科医療の重要性を理解し、寄与いただける政党や個人を強固な団結力をもって支援することとしたい。

**2. 事業項目**

- (1) 連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- (2) 各郡市支部並びに選挙区毎の連盟活動に対する支援に関する事項
- (3) 連盟広報活動(連盟ニュース・通信、ホームページ)に関する事項
- (4) 関係機関及び友好団体の医政問題に関する事項
- (5) 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- (6) 参議院比例代表候補者への支援に関する事項
- (7) 各政党職域支部及び職域代表候補者広島後援会の事業活動への協力に関する事項
- (8) 推薦国会議員、地方議会議員及び首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- (9) 推薦国会議員、県議会議員、市町議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- (10) デンタルミーティングの開催
- (11) その他政治的問題に関する事項

**『石井みどり広島県後援会』及び『林正夫後援会』総会**

平成22年 3月27日(土) 当も1年間させていただき、感謝申し上げます。しかしこれまで評議員会終了後、標記総会がエソール広島2階「多目的ホール」にて開催された。森本克廣副会長が開会の辞を述べた後、山科透会長の挨拶があり、次期参議院議員選挙に出馬予定の宮澤洋一氏より「皆様のご推薦をいただき本当に心から感謝をいたしております。歯科医療に

対する考えを先日文章にて提出いたしました。私自身、昨年8月まで9年間衆議院議員をさせて頂き、その中で厚生労働委員会に所属させてもらってまいりました。最後の5年間は理事として活動をし、また自民党の政調副会長として社会保障担当副会長として活動してまいりました。当も1年間させていただき、感謝申し上げます。しかしこれまで厚く御礼申し上げます。また、平素より私の議員活動に對しまして先生方の大きなお力添えを賜っていることをこの席をおりし申し上げて重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。今日は石井みどりニュースを皆さんのお手元にお配りしておきました。3月9日の参議院予算委員会、金融財政担当の亀井大臣・大島副大臣が答弁に立ちました。私は自主共済(保険業法改正)と公益法人制度改革の問題について質問をしました。自主共済に関しましてはいくつかの解決方法があると思います。これは何度か議論しまして法制局ともどういったことが考えられるか私も研究をしてみました。どの方向になるのか亀井大臣にかなり突っ込んでみましたが見事にかわされませんでした。国会の法案にでも出ればよいのですが、さもなければ秋の臨時国会に提出されるか、ぎりぎり来年度の通常国会までです。タイムテーブルの時間を考えますと法改正が可決いたしました。これは私も何度か質問に立ちました。火曜日には長妻大臣、木曜日には鳩山総理に質問をしました。非常に制度設定が稚拙で不十分でありました。さまざまな問題を抱えているにもかかわらず修正しようとはせず、そこを追及したのですが、22年度のスタート時は半額の1万3000円、23年度の予算編成の中で23年度に向けて22年度中に制度設定を詰めていくということです。国家の防衛予算を越える額をこの事業だけに5・3兆円の予算を計上しています。文部科学技術予算に相当する大変巨額な予算をただ子供手当、年金給付に使った。この妥当性をいくらマニフェストに載せ、昨年の総選挙で国民に約束をしたとはいえず、こんなさな制度設定で執行され



挨拶する山科透会長

だきましたことを心より厚く御礼申し上げます。また、平素より私の議員活動に對しまして先生方の大きなお力添えを賜っていることをこの席をおりし申し上げて重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。今日は石井みどりニュースを皆さんのお手元にお配りしておきました。3月9日の参議院予算委員会、金融財政担当の亀井大臣・大島副大臣が答弁に立ちました。私は自主共済(保険業法改正)と公益法人制度改革の問題について質問をしました。自主共済に関しましてはいくつかの解決方法があると思います。これは何度か議論しまして法制局ともどういったことが考えられるか私も研究をしてみました。どの方向になるのか亀井大臣にかなり突っ込んでみましたが見事にかわされませんでした。国会の法案にでも出ればよいのですが、さもなければ秋の臨時国会に提出されるか、ぎりぎり来年度の通常国会までです。タイムテーブルの時間を考えますと法改正が可決いたしました。これは私も何度か質問に立ちました。火曜日には長妻大臣、木曜日には鳩山総理に質問をしました。非常に制度設定が稚拙で不十分でありました。さまざまな問題を抱えているにもかかわらず修正しようとはせず、そこを追及したのですが、22年度のスタート時は半額の1万3000円、23年度の予算編成の中で23年度に向けて22年度中に制度設定を詰めていくということです。国家の防衛予算を越える額をこの事業だけに5・3兆円の予算を計上しています。文部科学技術予算に相当する大変巨額な予算をただ子供手当、年金給付に使った。この妥当性をいくらマニフェストに載せ、昨年の総選挙で国民に約束をしたとはいえず、こんなさな制度設定で執行され

2010年3月27日 Vol. 17

# 参議院議員 石井みどりNEWS

## 自主共済を救済する法案を4月に国会提出

石井は3月9日、参議院予算委員会にて保険業法改正と公益法人制度改革について質問。亀井金融担当大臣から、いわゆる自主共済を救済するための法案を4月中に国会に提出する答弁を引き出した。一方、歯科医師会事業の公益性についての認識を問う場面で大島内閣府副大臣は、個別の事業の公益性については公益認定委員会において基準に従い公正に判断していくと回答し、具体的な言及を避けた。



石井は質疑の冒頭、保険業法改正に伴い廃業（解散）等の選択を迫られている自主共済の問題を取り上げ、担当の亀井金融大臣は救済を明言した。今後のスケジュールとして、3月中の法案作成、4月中の国会提出の意向であることを明らかにする一方、亀井大臣は政令ではなく新法で対応し事業継続を図る意向を示した。同時に、救済の範囲及びその方法等、今後の対応の詳細についてはまだ具体的な指示を出していないとの答弁があった。早期実現がかけ声倒れに終わらぬよう、継続して法案の行方を注視し、財政金融委員会において今後も質疑に立つ予定としている。同様に、日歯福祉共済制度および日歯年金制度が解散とならぬよう公益法人制度改革についても、内閣委員会において引き続き質疑等行っていくつもりである。

### 参議院議員 石井みどり事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館206号室  
電話番号：03-3508-8206 FAX：03-5512-2206  
e-mail：midori\_ishii@sangiin.go.jp HP：http://www.ishii-midori.jp/

自由民主党東京都参議院比例区第二十九支部 発行



挨拶する石井みどり参議院議員

4月1日から、6月に市町村を通じて支給となりますが、4月から申請をしないともえませ

ん。児童手当を丸呑みしない財源が足りません。児童手当ですが、初めは昨年の10月辺りは長妻大臣も鳩山総理も全額国費と言ったのですが、財源が足りないものですから、現在、児童手当で国が支出しているもの、地方が負担しているもの、そして事業者が負担しているもの、これをそっくりそのまま丸呑みしなければならず、結局児童手当の支給方法を使うことになりまし。

仮に、一年以上定住し、海外に50人のお子さんがいる外国人労働者がいると仮定し、国が証明書を出した場合は50人分払わなければならない。月2万6000円×50人×12ヶ月という膨大な金額になります。中国農村部の1年間の収入は平均6万7000円です。明らかに誤ったメッセージを海外に発信しています。日本の国民が一生懸命汗を流して収めた税金が議論審議が不十分のまま使われていく。これだけ問題があればもっと議論して秋の臨時国会に提出しても良かった。ところがこの通常国会で3月中にどうしても提出したかつ

た。これは6月にお金をばら撒くと言つ、正に国費を使って選挙運動をしていると感じます。亀井大臣との討論もそうですが引き続き財政金融委員会でも法案がどこまで行ったかこの質問に立たせていただこうと思つています。公益法人改革も歯科医師会が解散することのないように内閣委員会の中でも質問に立つていこうと思つています。また野党にはなりませんが国会質問だけでなく私にただ1人の職域代表でありますので、その辺は霞ヶ関の方々はそのう

つた認識をされております。私の質問は、国会質問に馴染まないものやデリケートな問題ばかりです。ので、何度も保険局医療課の方を呼んで意見を交わしております。どうしても意見が合わなければ必要に応じて国会質問と言つ場を使つわけですが、あまりデリケートな問題を国会質問とする、或いは質問趣意書を出すそれが政府の公式見解になつてしまいますので、その危険性を単なる野党であれば歯科にとつてマイナスであるが何であるかが自分が質問したと言つパフォーマンスで済みますが、私の場合それも行きません。職域代表ですので野党の一員であるのと本当に歯科界にプラスになる答弁を引き出すものでないと軽々しく質問は出来ません。歯科界が抱えている課題は山積しております。野党とはいえ全力で働いて参ります。それは先生方の支えがあつてからこそでございます。

この夏も、また宮澤先生が厳しい選挙戦に臨まれます。広島県からどうか宮澤先生を国会に送っていただきたいと思つています。国政報告になりませんでしたけど、先生方の引き続きの力強い支援を賜りまして全力で働いてまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。次に林正夫県議会議長より「皆様方こんにちは本年度も後援会を開催していただきましてうれしく思つておるところです。本当にありがとうございます。県政報告であります。昨年の11月に先生方のお力によりまして新しい知事が誕生いたしました。新聞等で色々発信をしておりますが、良い知事を選んだと思つております。先生方も感じになられておられると思つております。とにかく若くて色んなアイデアをお出しになり、これからの広島県に大いに期待してください。大事なのは地域間競争であり広島市との懸案事項を一刻も早く解決し県市一体となつて広島県の発展ということをお願いいたします。そういうことも12月・1月とすでに解決して来ました。それから新年度の予算を組んだわけですが、歯科医師会関係についても95点位は山科会長から預けるのではないかなと思つています。私どもの

選挙が来年の4月にあります。また先生方にご迷惑をお掛けする様になります。全国を見ますと多少民主党寄りの話が入ってきます。そういうことになりまして全国で戦つております石井みどり先生が心配になります。歯医者としての実力は存じませんが、政治家としての実力は将来の扇千景さんのようになるものと大いに期待が持てます。宮澤先生の選挙において、最高責任者は岸田文雄先生でありま。そして実質的な選対本部長になられるのは恐らく溝手顕正先生になるかと思つています。ともに歯科医師会とは大変ご縁の深い先生方が最高幹部でおられて、我々はその地域ごとでがんばつて行く。後3年経つと石井みどり先生の選挙になるわ

けです。今の状態でありまして3年後が非常に大変です。全国を見ますと多少民主党寄りの話が入ってきます。そういうことになりまして全国で戦つております石井みどり先生が心配になります。歯医者としての実力は存じませんが、政治家としての実力は将来の扇千景さんのようになるものと大いに期待が持てます。男の先生だと言えない事が女性だとどんでん返るんです。県政報告になりませんでしただけで、本日は後援会を催して戴いた事を厚く御礼申し上げます」と挨拶を述べられた。六村紳一副会長の閉会の辞にて終了した。



挨拶する林正夫県議会議員

平成21年度

第4回理事会

3月27日(土)午後4時30分より県歯会館4階「役員会議室」に於て標記



平成21年度 第4回理事会 (3/27)

理事会が開催された。森本克廣副会長の開会の辞に始まり、山科透会長の挨拶、山科透より「3月15日に第3回臨時連盟理事会を開催し経過報告につきま

- (1) 続いて荒川信介理事長より次の報告があった。
(2) 中央情勢報告
(3) その他
(1) 一般会務及び会計現況報告
(2) 第54回評議員会の日程及び付議事項について
(3) その他

たばかりの時には非常に混乱した経緯があったと聞き及んでいます。日本歯科医師連盟としては会員の考え方歯科医師会会



挨拶する山科会長

とで、民党から支援のお願いが来ていることとの説明があった。日歯連盟は選挙区については政権と与党を支援する。地方区においても政権と党を推薦してほしいとの要請。
広島選挙区については、自民党の宮澤洋一氏が候補者になられ、正式に推薦依頼が来ております。自分たちは自民党員

平成21年度

第3回臨時理事会

3月15日(月)午後7時より県歯会館6階「八標記理事会が開催され、



平成21年度 第3回臨時理事会 (3/15)

次期参議院選挙の対応について協議が行われた。六村紳一副会长より開会の辞が述べられた後、山科

透会長より「日本歯科医師連盟のスタンスはほぼ決まっていますが、広島の歯科医師連盟として

果は、選挙による明確な国民の意思の現れです。民主党は結党以来政権交代をスローガンにか

ただ感情だけに流されるような組織活動は社会からも認められません。本日の意見を慎重に集約し、これからの我々の行動にしていきたいと思



平成21年度 第3回臨時理事会 (3/15)

西村まさみ氏の日の歯連盟からの支援の要請があり、広島県後援会設立を含めてご承認をいた

# 第110回日本歯科医師連盟評議員会

平成22年3月19日(金)午後1時より、日本歯科医師会館に於て標記評議員会が開催された。

氏名点呼後、富野晃副会長の開会の辞で始まり、議事録署名者に細谷仁憲(宮城)五十嵐治(新潟)が指名された。その後物故会員に対する黙祷をした。

続いて、堤直文日本歯科医師連盟会長より「評議員会ご出席ありがとうございます。会員の立場者であれば支援していただくという事で、西村まさみ氏を決めていただいたように支えていくか話し合っていたら良かったと思う。各都道府県でデンタルミ

ーティングを開催してき



挨拶する堤直文日歯連盟会長

たが政権交代の後、与党議員が少ない所もある。このような状況の中で我々の政策を訴えるために民主党員全員にかわら版のようなものを出してみたいと思っている。民主連盟の中には歯科医療議員連盟というものがあ

り、監査指導について、共済事業について、歯科衛生士についてなどのワーキンググループがある。そこに意見助言を申し上げるようになっている。2月19日の評議員会の際、名前も告げることなく候補を承認していたが、2月26日に小沢幹事長が会館に来館され、候補者が内定し、3月3日に民主党として公認ということで参議院選挙に立候補する決意をした。日本歯科医師連盟評議員の先生方におきま

しては多大なるご迷惑をお掛けしていると思う。また、地方では様々なねじれ現象が生じていることも承知している。しかし国政と地方の行政では違うことを理解し、西村まさみの支援の輪を拡げてもらいたいと思う。今私が考えていることは、歯の健康を守る法律を整えること、租税特別措置

法を存続していくこと、歯科医師需給問題を解決すること、私に出来ることはまず小さいことから少しずつ実行していきたい、そして自分の目で見て、耳で聞き、自分の足で歩いて、この短い期間に一人でも多くの先生に会い、自分の信条を訴えていきたい。夏までの短い間ではあるが一人でも多くの先生方に御教えを賜りまして国政の場に出させてい

たいと思っている。

「法を存続していくこと、歯科医師需給問題を解決すること、私に出来ることはまず小さいことから少しずつ実行していきたい、そして自分の目で見て、耳で聞き、自分の足で歩いて、この短い期間に一人でも多くの先生に会い、自分の信条を訴えていきたい。夏までの短い間ではあるが一人でも多くの先生方に御教えを賜りまして国政の場に出させてい

たいと思っている。」と挨拶があった。

引き続き議事に移り、第1号議案 高嶺あきひ 中央後援会の解散に伴う会計収支決算の残預金受け入れの承認

第2号議案 平成21年度一般会計第2次収支補正予算

第3号議案 平成22年度事業計画

第4号議案 平成22年度会費の額

第5号議案 平成22年度一般会計収支予算

第6号議案 平成22年度政治活動運営会計収支予算

第7号議案 平成22年度運営基金積立金会計収支予算

第8号議案 平成22年度役員退職金積立金会計収支予算

第1号議案から第8号議案まで賛成多数で可決された。



第110回日歯連盟評議員会(3/19)

## 協議事項

### (1) 時局対策について

### (2) 第22回参議院議員選挙の対応について

高木幹正理事長より「今回民主党候補から西村まさみ氏を推薦してほしいとの要望があった。主体は民主党の比例区代表であり我々はこの候補者を支援することになる。」

そこで支援の体制図を職域代表と言つ形で後援会を立ち上げているので、従来は選対本部を連盟の中に立ち上げています。今回は後援会を主体に選挙活動をしようと言つことの後援会の中に選対本部を設けようと言つことになりません。西村まさみ後援会のなかに選

対本部があり、その戦略をやるに当たってイメージチーム、タスクチーム、財務会計と機能分担をしていただきます。

それらの役員については、中央後援会の役員については日歯連盟の今現在の執行部の名簿がありさらにこの中にメンバーとして入っていたらいいと思います。今思つて

る。日歯関係の方、官邸関係の方々に顧問なり副会長なり依頼する予定で

す。総合戦略本部は常任理事以外の方で構成されています。総括は私、高木が務めさせていただきます。

西村まさみ氏の中央後援会支援金、支援活動に当たっては中央後援会支援金中央とそれぞれの地方後援会または支援会と

してそれぞれで政治団体として届出をして立ち上げていただきたい。各都道府県の事情があるので各々の裁量に任せます。

西村まさみ中央後援会支援活動への協力金について

(1) 中央後援会の支援活動に対して協力金をお支払いしていきます

(2) 協力内容  
後援会を設置  
会計計画への協力  
会員向けの諸活動  
独自のリーフレット作成 FAX通信の発行

その他の支援活動

(3) 支援協力金の支払い基準「2,000円×会員数」

今日は全体の体制図、協力金の流れをご検討とご理解をいただければと思います。

## 事前質問(要望)

### 神奈川県 富田評議員

西村まさみ氏を全国の連盟会員に早急に認知してもらいたい。

### 長野県 塚越評議員

会計計画について。

### 大阪府 黒川評議員

色々温度差がある都道府県の中で地元選挙区の民主党議員達総力あげて西村まさみ氏をバックアップをし、当選に向けてすでにヒートアップしている事の報告。

### 大阪府 久家評議員

西村まさみ氏で選挙に臨むなら臨むで執行部も本腰を入れてがんばってほしいとの要望。

### 愛媛県 山本評議員

今回のような政党が候補者を立てて我々が支援をするという形式は今回限りしてほしい。

### 広島県 荒川評議員

DVDでもマニュアルでも結構ですので西村まさみ氏の考え(外国人の参政権、夫婦別姓、子供手当など)について民主党の意見を反映されるのか(含む)を是非早めに会員にお知らせ願いたい。その節には石井議員のときと同じように、「我々に不利益をもたらす時は我々の判断に従う」という決意があるのか又誓約書の内容を公表できるものならお知らせ願いたい。

その他、数多くの評議員から多岐にわたる質問、要望意見具申等が行われ、執行部役員が答弁に当たった。

最後に富野晃副会長の閉会の辞で終了した。

# 第109回日本歯科医師連盟評議員会

平成22年2月19日(金)午後1時より日本歯科医師会館1階大会議室に於て標記評議員会が開催された。

氏名点呼の後、三塚憲二副会長が「先生方こんにちは。大変お忙しい中、また寒い中、第109回の臨時評議員会にご出席

いただき、ありがとうございます。また、本日は日歯副会長として通常国会でお忙しい中、石井みどり先生、水野智彦先生にご出席くださいまし

た。本日は、次期参議院比例代表区選挙について先生方から色々な意見を頂きながら今後の私たち

日本歯科医師連盟ひいては日本歯科医師会、私たち会員はどのような方向性で今後どのようにやって行くのかを決める大事な会議です。是非先生方の忌憚の無い意見を戴きながら私たち会員のため

に良い方向となるような位置付けの会議で終わる事をお願い致します」と開会の辞を述べられた。続いて議事録署名名人に

議長より中谷謙二(和歌山)評議員、塚本浩樹(佐賀)評議員が指名された。日程に従い挨拶に入り、急遽駆けつけていただいた水野民主党衆議院議員においては時間の都合上先に挨拶があった。

水野先生より「皆さんこんにちは。本日は第109回臨時評議員会へお招きいただきまして誠にありがとうございます。ただいま紹介を受けました衆議院議員の水野智彦でございます。私たちは

昨年の夏に総選挙で政権交代をいたしました。この何か月間かやらせて戴きました。私は歯科医師会にも入っておりますし、一地方の歯科医師として自分の生活を省みて

このままだと歯科界はダメになるという事で党の中で働かせていただいております。本年の参議院選挙におきまして自民党から立候補者が出ています。にもかかわらず民主党に

## ごあいさつ

昨年の夏の政権交代は、国民の強い意志で実現いたしました。私たち歯科界では、日本歯科医師会や日本歯科医師連盟が要望してまいりましたセプトオンライン化の問題、診療報酬の適正な評価につきましても、政権が変わったということで、オンライン化の事実上の撤廃や診療報酬改定におきましては、32年ぶりに医料を上回る2.09%アップなど、素早い対応が歯科医療界を抱える問題の解決に向けて一歩前進したことだと考えています。

そのために政権与党の中で声を出していく必要があるということを感じ、また会員の一人として、全国の歯科医師の先生方の声を代弁するために活動していく決意をいたしました。わが国の歯科医療を再興し、会員の先生方が安定した経営基盤のもとで国民のための質の高い医療の提供ができるように、今後も誠心誠意努力する所存でございます。

# にしむら 西村まさみ

## 西村まさみ中央後援会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内  
TEL:03-6272-9033 FAX:03-3263-0345  
URL: <http://www.nishimura-masami.jp>

STOP 医療崩壊

# 歯科界に希望ある未来を!!

「今すぐ安全、安心な暮らしを」人の命を大切に国民の生活を守る政治



歯科界の代表として働きます!

医療需要の拡大  
医療、保健、介護制度  
の確立に努めます。

診療報酬の適正評価  
現場の声を適切に反映  
した、診療報酬の確立。

経営基盤の安定  
経営の安定を図ることにより  
良質な医療を提供します。

需給問題の改善  
需給問題改善を政治  
の場で論議します。

### 西村(にしむら)まさみ 略歴

- 昭和38年10月20日 東京に生まれる
- 平成元年3月 日本歯科大学歯学部卒業
- 同年4月～平成3年3月 東京医科歯科大学歯学部第3歯科保存学教室医員
- 平成5年7月～ まさみデンタルクリニック開設・院長
- 平成15年4月～ 東京都認証 コンビプラザ中野保育園歯科医
- 平成18年4月～ 東京都中野区立北原小学校歯科代表校医
- 平成21年1月 中野区障害児(者)診療スマイル歯科診療所医員
- 平成22年3月 東京都国民健康保険診療報酬審査委員会審査委員
- 同 年4月～ 社団法人東京都中野区歯科医師会理事(社医委員)

という事もお話しさせて戴きました。そして皆様も存知の通り昨年の12月23日に発表がありました今回の診療報酬改定です。歯科が2.09%。皆様の中ではもっと期待されていた方もいらっしゃるかなと思っておりますが、実は財務省の中では今回も医療はマイナス査定とお話されています。これからは歯科医師が政治の世界でもっと発言して行かなければならないことは先生達の間でも認識は同じではないかと思っております。また与野党の歯科医師だけでなく超えて協議することが多々あると思っております。これから我々に力をお貸し頂いて日本歯科医師会のためだけでなく日本歯科



第109回日歯連盟評議員会(2/19)

師連盟のためでもなく、一開業医のものとして先生達がゆとりを持って明るく生活をして行ける、そして自分の子どもを育てていける、また、お孫さんを見て行ける環境を作って行きたいと思っております。現状のままだと歯科はギリギリになって行きます。是非皆様のお力で新しい仲間を一人加わらせて頂きたいと心からお願い申し上げます。本日はお招き頂きましてありがとうございます。私は午前中厚生労働委員会の中でいろいろな事を審議してまいりました。これから私は厚生労働委員会の中で歯科医師として自分の立ち位置から自分がやりたいこと皆さんが思っていることを政策として訴えて行きます。今



挨拶する堤直文会長

日はどうもありがとうございますとございまして」と挨拶を述べた。次に堤直文会長より「まずは今日の臨時の評議員会に先生方お忙しい中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。今までは自民党一筋でございました。従いまして自民党に関する献金だとか或いはそれに伴う人とのつながりが豊富にありました。しかし組織として民主党とは何の繋がりもありません。どこにどう働きかければよいのか。新しいシステムになつてからは非常に苦労しております。先ずは9月の30日に民主党の参議院の先生方その当時4人居られました。お集まり戴いて先ずは日歯の状況をお話し、資料をお渡し

して理解して頂きその流れの中で民主党の幹事長室に繋いで戴いた。一方では厚労省の大臣、副大臣つまり政務三役に繋いで戴き、お会いすることが出来ました。そこで初めて民主党の先生方に歯科界の問題についてお話をして参りました。骨太の方針、これに伴う毎年2、200億円の話、レセプトオンライン義務化の問題、去年の夏まではまだ解決していませんでした。方針は少し出ていましたけど実質的解決法はありません。それにインフルエンザ問題が出てきました。そういう問題について色々説明をした所、ご存知のように、200億円削減の話はなくなり、レセプトオンライン義務化の問題について

でも事実上廃止となりました。歯科医師会会員で歯科医師の代弁者ともなれば歯科医師会のプラスに働く方は私は応援が出来ると思う。民主党からそのような公認候補の方が出されました。これが私の事をご理解頂き協議の進行に御協力をお願い致します」と挨拶を述べた。

次に来賓挨拶では大久保満男日本歯科医師会会長より「私は政権交代後日本歯科医師会のトップとしてどのような政策協議をしてきたか、日本歯科医師会としてどのような政策決定をしてきたか、先生方の後からのご判断の参考にして下さればよいと思います。私は以前よりなぜ自民党とだけ付き合うのかという質問を会員から受けることがありました。それに対してそれは政権交代だからであると答えました。国民が選んだ与党が政府を支え国の政策を決める。政策のプロセスの中に私たち歯科医師会6万5千人の会員が、国民の歯科医療をしている。その代表として国民医療政策をきちんと政府の政策に反映するには与党と付き合う。これが議院内閣制における私たち歯科医師の立ち位置だということをお話しして参りました。そして、9月10日の日本歯科医師会の代議員会の冒頭挨拶で民主党と新たな信頼関係を築きながら政策協議を続ける。その中でまず報告したいのがさまざまな民主党幹部や役員の方とお会いしたときに、今歯科医療はこうした現状で大変厳しいということをお話するとそれは地元です。と聞いています。とほとんどの民主党議員は答えになります。私は助けられたと思いません。それは正式なパイプではないにしてもかすかなパイプであったにしろ日頃から当時野党だった民主党ともパイプが繋がって来たと言つ事に私は助けられました。そこところにつきましては心から御礼申し上げます。そして政策協議の結果評価したい事が2点あります。生活の医療である歯科医療の歯科医療とは生きる力を助ける医療である、という定義を載せていた。その結果が12月23日の2・09%でありました。問題は改定率の数値が出る前のさまざまな政策協議の中で与党がどのような評価をして導いたかというプロセスが大事だ。マネフェストにも医療をきちつとすることを謳っている。ある意味プラス改定は当然だということはあるかと思いま

す。今の日本の財源だけで歯科だけが8%、10%という財源をつけられると新たな信頼関係を築きながら政策協議を続ける。その中でまず報告したいのがさまざまな民主党幹部や役員の方とお会いしたときに、今歯科医療はこうした現状で大変厳しいということをお話するとそれは地元です。と聞いています。とほとんどの民主党議員は答えになります。私は助けられたと思いません。それは正式なパイプではないにしてもかすかなパイプであったにしろ日頃から当時野党だった民主党ともパイプが繋がって来たと言つ事に私は助けられました。そこところにつきましては心から御礼申し上げます。そして政策協議の結果評価したい事が2点あります。生活の医療である歯科医療の歯科医療とは生きる力を助ける医療である、という定義を載せていた。その結果が12月23日の2・09%でありました。問題は改定率の数値が出る前のさまざまな政策協議の中で与党がどのような評価をして導いたかというプロセスが大事だ。マネフェストにも医療をきちつとすることを謳っている。ある意味プラス改定は当然だということはあるかと思いま

にちは。このように国会報告と言う機会を設けられたことを心より厚く御礼申し上げます。また平素国会活動に關しまして先生方から多くのご支援を賜っていることを重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。私は歯科界の代表でありますので野党という立場となりましたが、それでも私は果たすべく役割は必ずある。そして出来ることはすべてやっつけていこうと思つてます。今通常国会衆議院の予算委員会を中心に、また常設委員会が2つ3つ動いております。予算関係

連法案等どうしても早期に成立させなければならぬ法案がある為に厚生委員会等が動いております。3月に入ってから参議院の予算委員会を中心としてまた関連の委員会が動き出します。特に歯科界が抱える課題は国会の審議を通じて、また議員立法を通じて私の責任を果たして参りたいと思つております。通常国会は荒れた国会になりそうです。今週もやっつと政権交代して初の党首討論が行われました。円滑な国会運びとならないと思つた。

次が高木幹正理事長から報告があつた。

ますが、その中でも精一杯私なりの勤めを果たして参ります。どうぞこれからも出来るだけ全国を廻らして頂いて先生方の声を聞かせて頂き、現場で何が起きているか、そしてこういう問題があるから石井勤けという声を頂きながらやっつと参つていきますので、どうぞ引き続きの大きなご支援をお願い申し上げます。ありがとうございます」と国会報告があつた。

### 日本歯科医師連盟 会長アピール

あなたの支援が歯科界の危機的状況を変える

平成22年4月吉日 日本歯科医連盟会長 堤 直文

#### 民主党政権の政治決断とは

日本の歯科医療を支える全国の会員およびデンタルファミリーの皆様、こんにちは。昨年の夏の総選挙において、今まで考えられなかった政権交代が起きました。つまり、国民はこれまでの政権が変わって政治的な権力を民主党を軸にした連立与党に与えました。

日歯連盟はこの現実を直視するとともに新たな対応にここ数ヶ月間苦慮してまいりましたが、決して政治姿勢がブレたわけではありません。

この間、日歯連盟は政権与党となった民主党と信頼関係を築きながら、粘り強く政策協議を重ねてまいりました。

その結果、発足してわずか数ヶ月しか経っていない新政権の下で、しかも国家財政が依然として苦しい状況の変わらない中で、十年来の診療報酬マイナス改定や3年以上も一向に進展しなかったレセプトオンライン化問題が信じられないスピードで一挙に前進しました。これは民主党政権の政治決断によるものといえます。

#### なぜ民主党公認の西村まさみ先生を支援するのか

平成22年度の診療報酬プラス改定やレセプトオンライン請求の完全義務化の実質上撤回は本来の国民歯科医療の実現に向けた第一歩であります。これからも、歯科界が解決しなければならない需給問題、税制、平成24年度の医療保険と介護保険の同時改定など課題は山積みしています。

これらの課題を解決するためには、政府と与党が作る政策立案のプロセスの過程に、歯科医師会と歯科医師連盟が歯科医療の専門家として政治的に関わっていかねば、その目的を達成することはできません。

つまり専門家として国民の健康を確保するには強力な交渉力が不可欠なのです。民主党公認候補となる西村まさみ先生を支援することは歯科界が抱える課題の解決につながる道づくりそのものなのです。

その後、議事に移り、第1号議案・第22回参議院比例代表選挙について話し合われた。「参議院選挙・全国比例区においては、政権与党である民主党から公認を得て出馬する本連盟員候補者を支援する」との議案が上程され、活発な議論が交わされた。このうち同議案への反対意見は、「なぜ今回の参院選で民主党の候補者を決めるのか。3年後まで待てなかったのか」、「我が国では自民党の選挙区候補の支援を決めている、比例区で民主党を支援することなど出来ない」、「候補者の名前

を明らかにせずに支援を決めるといのはあまりに横暴ではないか」などの発言があった。また、賛成の意見を表明した意見も多数あった。「賛成したが地域のねじれ現象の中で様々なトラブルが生じないか」と心配する意見や「歯科界のためにどれだけ貢献してくれたかで考えたら、民主党候補者を支援するのは当然である」、「自民党政権下では医科よりも高い改定率はなかった、執行部を信用しており、候補者の名前は判らなくとも民主党候補者を支援したい」などあり、採決の結果、賛成多数で本議案は可決成立した。

その後、日歯連盟の基本方針として政権与党である民主党、国民新党、社民党を支援するが各都道府県で野党を応援する事があるときは各々の裁量を尊重し、日歯連盟が与候補者を推薦する事はないが支援し、会員の場合は従来通り推薦することについて協議が行われた。

### 都道府県歯科医師連盟会長・理事長・広報担当者・事務局長連絡会

標記連絡会は、4月2日(金)午後1時から日本歯科医師会館1階「大会議室」において開催された。

蒲生副会長の開会に始まり、座長の選出(富野副会長)、堤会長の挨拶、高木理事長の報告に続き、連絡・協議に入った。協議は、「参議院議員選挙の対応について」として、今夏に行われる参議院議員選挙をどのように展開していくかという

1 支援体制について  
民主党より西村まさみ氏支援の要請があり、各県ともに「ねじれ」という状況の中で後援会組織を立ち上げ支援していただきたい。

2 各都道府県への支援金について  
会員数×2、000円を基準として支援金を送付するので、政治資金規正法に則り対応していただきたい。

3 西村まさみ中央後援会事務所について  
歯科医師会館内に、既に事務所は開設している。

4 第22回参議院議員選挙について  
投票日7月11日と予想し、それに向かって活動を行う。(選挙違反には、十分注意する。)

5 会合計画について  
西村まさみ氏の知名度をアップさせ、イメージを作り上げる選挙に臨む。イメージカラーは「コスモスカラー」で、キャッチコピーは「歯科界に希望ある未来を！」

6 選挙運動について  
今後は、マニフェストとDVDを作成し、一人でも多くの会員に西村まさみ氏の人となりを理解してもらおうことが肝要である。

7 タスクチームについて  
タスクチームは、如何にして支援者を集めることが出来るのかを考える部門であり、当選ラインは数十万票を獲得するために全力を挙げる。

8 タスクチームは、前回の選挙と同様に、会員ひとり当たり5名の支援者を確実に獲得していく。

9 顔も声も聞いたことのない会員に、僅か3ヶ月で支援の輪を広げることが困難であるが、歯科関係専門学校、の学生や歯科材料商、関係団体・同窓会等、広く支援をお願いしたい。

この説明があった後、各県より質疑応答があった後、日本歯科医師連盟は西村まさみ氏を支援候補者として第22回参議院議員選挙を戦うことを確認して閉会となった。

その後、議事に移り、第1号議案・第22回参議院比例代表選挙について話し合われた。「参議院選挙・全国比例区においては、政権与党である民主党から公認を得て出馬する本連盟員候補者を支援する」との議案が上程され、活発な議論が交わされた。このうち同議案への反対意見は、「なぜ今回の参院選で民主党の候補者を決めるのか。3年後まで待てなかったのか」、「我が国では自民党の選挙区候補の支援を決めている、比例区で民主党を支援することなど出来ない」、「候補者の名前

を明らかにせずに支援を決めるといのはあまりに横暴ではないか」などの発言があった。また、賛成の意見を表明した意見も多数あった。「賛成したが地域のねじれ現象の中で様々なトラブルが生じないか」と心配する意見や「歯科界のためにどれだけ貢献してくれたかで考えたら、民主党候補者を支援するのは当然である」、「自民党政権下では医科よりも高い改定率はなかった、執行部を信用しており、候補者の名前は判らなくとも民主党候補者を支援したい」などあり、採決の結果、賛成多数で本議案は可決成立した。

その後、日歯連盟の基本方針として政権与党である民主党、国民新党、社民党を支援するが各都道府県で野党を応援する事があるときは各々の裁量を尊重し、日歯連盟が与候補者を推薦する事はないが支援し、会員の場合は従来通り推薦することについて協議が行われた。

1 支援体制について  
民主党より西村まさみ氏支援の要請があり、各県ともに「ねじれ」という状況の中で後援会組織を立ち上げ支援していただきたい。

2 各都道府県への支援金について  
会員数×2、000円を基準として支援金を送付するので、政治資金規正法に則り対応していただきたい。

3 西村まさみ中央後援会事務所について  
歯科医師会館内に、既に事務所は開設している。

4 第22回参議院議員選挙について  
投票日7月11日と予想し、それに向かって活動を行う。(選挙違反には、十分注意する。)

5 会合計画について  
西村まさみ氏の知名度をアップさせ、イメージを作り上げる選挙に臨む。イメージカラーは「コスモスカラー」で、キャッチコピーは「歯科界に希望ある未来を！」

6 選挙運動について  
今後は、マニフェストとDVDを作成し、一人でも多くの会員に西村まさみ氏の人となりを理解してもらおうことが肝要である。

7 タスクチームについて  
タスクチームは、如何にして支援者を集めることが出来るのかを考える部門であり、当選ラインは数十万票を獲得するために全力を挙げる。

8 タスクチームは、前回の選挙と同様に、会員ひとり当たり5名の支援者を確実に獲得していく。

9 顔も声も聞いたことのない会員に、僅か3ヶ月で支援の輪を広げることが困難であるが、歯科関係専門学校、の学生や歯科材料商、関係団体・同窓会等、広く支援をお願いしたい。

この説明があった後、各県より質疑応答があった後、日本歯科医師連盟は西村まさみ氏を支援候補者として第22回参議院議員選挙を戦うことを確認して閉会となった。

## 連盟会務報告

U R à D Ô Ö R à D Ô U

8・1 連盟監査

第1回連盟理事会

第53回連盟評議員会

自民党推薦団体・友好団体会議

県歯連盟支部総会

堤日歯連盟会長広島第1選挙区・第4選挙区選挙事務所訪問

自民党第二選挙区支部推薦・支援団体会議

第45回衆議院議員総選挙公示日

各選挙区事務所出陣式

岸田・河井・増原・平口各事務所訪問

日歯連盟第106臨時評議員会

県歯連盟医政報告会

中川・寺田・小島各事務所訪問

中川秀直を支援する会

宮澤事務所訪問

自民党主党政談演説会

岸田文雄激励会

第45回衆議院議員総選挙投票日

日歯連盟107回評議員会

都道府県歯連盟代表者・理事長会議

榎山俊宏広島県議会議員在職30周年記念祝賀会

第2回連盟理事会

広島県知事選挙告示日

湯崎英彦出陣式

11・8 広島県知事選挙投票日

11・17 斉藤鉄夫を励ます会

11・20 日歯連盟第108回臨時評議員会

12・4 増原義剛君と語る会

12・7 自由民主党西地区第一支部研修会

12・14 第4回岸田文雄「新政治経済塾」

12・18 連盟ニュース141号発行

12・18 岸田文雄後援会新年互礼会

12・18 自民党東進意見交換会

12・18 河井克行を育てる会合同新年交歓会

12・20 連盟ニュース142号発行

12・23 富永健三後援会新年互礼会

12・24 自由民主党全国大会

12・25 橋本博明新春の集い

12・25 公明党平成22年賀詞交歓会

12・30 すげかわ洋新春の集い

12・9 連盟監査

12・12 日本共産党広島県委員長来会

12・15 日歯連盟都道府県会長会議

12・19 中川秀直代議士を囲む新春セミナー

12・22 日歯連盟第109回臨時評議員会

12・22 第49回自由民主党広島県連大会

12・3 平成研究会セミナー

12・3 日本歯科医師会・日本歯科医師連盟役員連絡協議会

12・15 第3回連盟臨時理事会

12・19 日歯連盟第110回臨時評議員会

### 「河井克行を育てる会」合同新年交歓会

1月18日(月)午後6時より広島市中区リーガロイヤルホテル4階「ロイヤル」で標記の会が開かれ、河井克行衆議院議員の激励を受けた。

8月の衆院選敗北で野に下った自民党を生まれ変わらせるべく鳩山邦夫衆議院の励ましを挨拶で始めた。次に岩見隆夫政治ジャーナリストによる時局講演があり小沢一郎民主党幹事長の献金問題が議題となった。

河井克行衆議院議員は「自民党の中堅・若手議員のまとめ役として精力的に動いている。党の国会対策副委員長に任じられたので一所懸命頑張ります」と決意を述べた。

本会より六村伸一支部長及び田辺直彦副会長と横畑裕之専務が出席した。

### 連盟支部だより

十 \$ \$ æ

### 岡田信彦氏、佐々木正剛氏 県連会長表彰を受く

岡田信彦氏(安芸)、佐々木正剛氏(広島)は、歯科医師支部における永年の連盟活動の功績が称えられ、去る2月21日(日)「リーガロイヤルホ

テル広島」にて行われた第49回自由民主党広島県支部連合会大会において、県連会長表彰を受けた。

我々は自民党員であり、また職域代表に石井みどり議員を持ち、その中で民主党推薦候補者を支援することに大きな異和感があって当然である。また払拭するには時間がかかるであろう。この歪を一刻も早く理解して頂けるよう、情報提供に邁進してゆく所存ですのでご協力宜しくお願い致します。(志)



岡田信彦氏 佐々木正剛氏

我々は自民党員であり、また職域代表に石井みどり議員を持ち、その中で民主党推薦候補者を支援することに大きな異和感があって当然である。また払拭するには時間がかかるであろう。この歪を一刻も早く理解して頂けるよう、情報提供に邁進してゆく所存ですのでご協力宜しくお願い致します。(志)